



▼大津高校サッカー部の全国大会ベスト8に貢献した一村選手



## 一村選手が全国の舞台で躍動

全国高校総体サッカー競技でベスト8に進出

8月13日（金）～22日（日）福井県で行われた令和3年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会に一村聖連選手（大津高校3年・仁田子区）が出場し、チームのベスト8進出に大きく貢献しました。

一村選手は、都市大塩尻（長野）との1回戦で先発出場を果たし、勝利につながるゴールをアシストしてチームを鼓舞する活躍を見せると、続く2回戦では流通経済大柏（千葉）を相手に追加点となるゴールを奪い、躍動。強豪校との一戦を制した勢いそのまま、3回戦の高岡第一（富山）に完勝し、2018年以来となるチームのベスト8に貢献しました。

全試合に先発出場した一村選手は大会を振り返って「ベスト8は悔しい結果。全国の舞台を初めて経験できたことを前向きにとらえて、冬の選手権大会での全国制覇を目指したいです」と雪辱を誓いました。

## 自身の健康状態を正しく理解

### 集団健診結果説明会

9月2日（木）から町生涯学習センター・ホールで、町の集団健診の結果説明会が行われました。

説明会は、7月から行われた町の健診を受診した皆さんを対象に毎年実施するもので、健診受診者に自身の健康状態を正しく理解してもらい、生活習慣の改善や自覚症状の無い病気の早期発見を通して、重篤な病気の発症予防や医療費の抑制を図っています。

参加者は町健康推進課の保健師などの説明を受けながら、日々の生活を振り返りました。



▲町の保健師などから健診結果の説明を受ける参加者



◀健診を受診して健康を保つ甲斐俊さん（右）

## 健診受診で元気に長生き

100歳を迎える甲斐憲俊さん（緑町区）

8月23日（月）町総合保健福祉センターで後期高齢者健診が実施され、甲斐憲俊さん（緑町区）が同センターの町職員からサプライズの祝福を受けました。今年度の町の健診受診者最高齢となる甲斐さんが来年1月に100歳を迎えるのを前に、町職員が企画。福島健康推進課長が、ほぼ毎年、町の健診を受診し健康づくりに励む甲斐さんに、手作りのくす玉を割って記念証と花束を手渡しました。甲斐さんは「地域の皆さんの前で祝ってもらって照れるが、健診のおかげで今がある。私が元気で健康だと家族に喜んでもらえる」と笑顔を見せました。

## 人権について考える

### 上益城郡人権教育連絡協議会パネル展

9月9日（木）～15日（水）町生涯学習センター・ギャラリーモールで、上益城郡人権教育連絡協議会パネル展が開催されました。

この展示は、部落差別をはじめとしたあらゆる差別をなくすために、人権問題などの啓発活動に取り組む上益城郡人権教育連絡協議会（御船町・嘉島町・益城町・甲佐町・山都町）が実施。人権・同和問題（部落差別）啓発に関するパネル展が5町を巡回しながら11月1日（月）まで行われます。会場を訪れた住民は足を止めてパネルを見学しました。



▲歩みを止めて展示された人権啓発パネルを見入る来場者



▲絵を楽しく描く参加者と対話する越名さん（右）

## 無意識の自分を理解する

### ワークショップ「こどもアートセラピー」

8月21日（土）町生涯学習センター・研修室で「こどもアートセラピー」が開催されました。アートセラピーとは、絵を使った心理療法のことで、無意識の心象風景を描き、描かれた物の形やその色使いなどから自身の心理状態などを知るために活用されるもの。甲佐町集落支援員の越名智美さん（大町区）が企画しました。

参加した親子連れなどが、越名さんの案内に沿って思い思いの風景をクレヨンで描写。完成した作品を観賞し合っており、どんなイメージで描いたかなどについて対話しながら、親子の絆を深めました。

## 内田選手と杉島選手が全国大会出場

### 全国高等学校軟式野球選手権大会



▲第66回全国高等学校軟式野球選手権大会に出場し、仲間たちとの最後の試合に望む内田選手（左）と杉島選手

8月25日（水）～30日（月）兵庫県で行われた第66回全国高等学校軟式野球選手権大会に内田好星選手（開新高校3年・下横田区）と杉島耀太選手（開新高校3年・下横田区）が出場し、高校生活最後の大会で躍動しました。

南部九州大会決勝での接戦を制し、各地区大会を勝ち上がった16校が集う全国大会の初戦で北信越地区代表の松商学園（長野）と対戦。2番中堅手で先発出場した内田選手は、9番二塁手の杉島選手とともに安打を放つなど、練習の成果を披露。チームは継投策で被安打を2本に抑えて接戦に持ち込みましたが、一步及ばず0-2で惜しくも敗退となりました。

大会を終えて、杉島選手は「自分たちのミスで負けてしまったのは悔しいですが、最後の大会を最高の仲間たちと終わることができて良かったです」と笑顔。内田選手は「高校卒業後は社会に出ることになりますが、これまでの野球人生10年間で学んだ多くのことを今後の人生に活かしていきたいですね」と新たな目標を話しました。